

伊勢神宮と鳥羽

伊勢神宮は、日本で最も崇拝されている神道の聖地のひとつです。約二千年前に、太陽の女神である天照大御神を祀って建立されました。実は、伊勢神宮は、皇大神宮（または内宮）と豊受大神宮（または外宮）の本殿を中心とした125の異なる神社の総称です。皇大神宮には日本の天皇の祖先として崇められている太陽の女神が祀られています。豊受大神宮には、産業、食物、衣服、住居の女神である豊見大神が祀られています。伊勢神宮では、皇室の繁栄、世界平和、豊穡を祈るため、毎年 1,500 を超える儀式が行われています。

鳥羽地域の豊かな自然環境と豊富な実りは、伊勢神宮で使われる特別なお供えの食べ物の供給源であり、鳥羽地域は伊勢神宮の伝統儀式において重要な役割を果たしています。